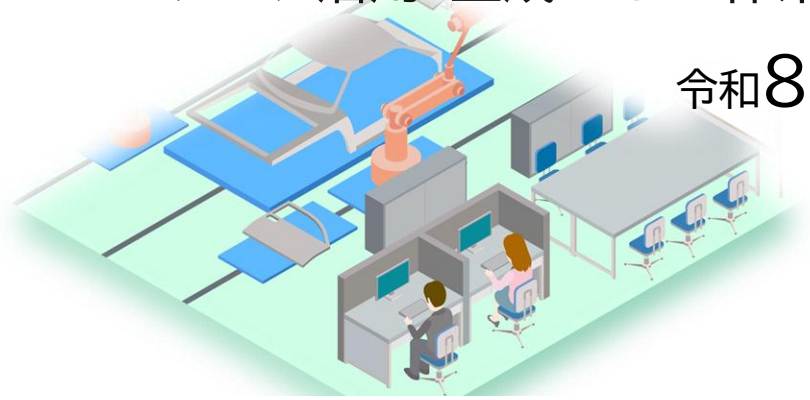
主催　地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

令和8年度

品質管理講習会（技術課程）

－科学的問題解決を軸に、データ活用・生成AIまで体系的に学ぶ実践講座－



令和8年11月5日(木)
～令和9年2月25日(木)
全15日間
10:00～16:00
（昼休憩 1時間あります）

製造・開発の現場では、品質要求の高度化や顧客価値の多様化に加え、データ活用や生成AIの進展により、問題解決の進め方が変わりつつあります。本講習会では、新商品開発や品質保証の考え方、科学的な問題解決手法、統計・実験計画法を体系的に学びます。

本年度は、これらの手法を実務でより活かすため、生成AIを品質管理の文脈に組み込み、QC活動やデータ解析に活用する内容を拡充しました。製造・開発・品質部門の技術者を主な対象としつつ、品質課題の整理や判断・説明など、問題解決に関わる業務に携わる方にも有用な講座です。

事例研究について（日程はHPにてご確認ください）

フルコース受講者には、講習会で学んだ実験計画法を用いて、各自の職場における課題を題材とした事例研究に取り組んでいただきます。本事例研究では、研修で学習した内容を実務に結び付けることを目的とし、職場の問題に対する検討を行います。この事例研究に取り組むことにより、受講料の数十倍規模の改善効果が得られた事例もあります。

～こんな方におすすめ～

- 製造・開発・品質部門で、品質改善や工程改善に携わっている方
- 品質問題や業務上の課題に対し、感覚ではなくデータと論理で説明・判断できるようになりたい方
- 統計や実験計画法を学んだものの、実務での使いどころに悩んでいる方
- QCストーリーや品質管理の考え方を、現場で無理なく使える形で身につけたい方
- 生成AIを、品質管理や問題解決の業務にどのように活用できるかを具体的に知りたい方

開催方法：　オンライン(Zoom)
受講料：　50,000 円 ※テキスト代は別途
定員：　30名　※先着順

詳細・申込はHPをご覧ください
https://www.kistec.jp/learn/qcadvanced/

令和8年度 品質管理講習会（技術課程） カリキュラム日程表

本講習会では、新商品開発・統計・実験計画法・生成AIまでを段階的に学びます。

日程	科目	講師	※スポット
11/5（木）	顧客価値を実現するための新商品開発と科学的問題解決入門	青山学院大学 名誉教授 石津　昌平	★
11/12（木）	お客様の価値創造に貢献し、 ブルーオーシャン戦略を実現する新商品開発と品質保証の基本	元文化学園大学 特任教授 Quality Investigator 光藤　義郎	★
11/19（木）	はじめてでもよくわかる検定・推定 ― 問題解決に活かす統計的手法の考え方 ―	電気通信大学 名誉教授 鈴木　和幸	★
11/24（火）	データに潜む「関係性」を解き明かし、改善の根拠を作る ― 相関・回帰分析による要因解析と予測の実践 ―	慶應義塾大学 教授 鈴木　秀男	★
12/2（水）	かしこい実験のために ― 分散分析を使って、うまくいく方法を見つける ―	拓殖大学 教授 佐野　雅隆	★
12/8（火）	実験回数を減らして、答えは増やす ― 2水準直交配列表実験入門 ―	東海大学　教授 金子　雅明	★
12/17（木）	ゲームで学ぶ実験計画法（導入編）	株式会社日本科学技術研修所 犬伏　秀生	★
12/24（木）	ゲームで学ぶ実験計画法（応用編）	株式会社日本科学技術研修所 犬伏　秀生	
1/14（木）	実験計画の進め方の講義と 実験計画の知識の確認のための試験	東海大学 名誉教授 綾野　克俊	
1/21（木）	生成AIで加速するQC活動	関西大学 名誉教授 荒木　孝治	★
1/28（木）	生成AIがデータサイエンティストになる	関西大学 名誉教授 荒木　孝治	★
2/4（木）	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール　① ― 品質機能展開 ―	玉川大学 教授 永井　一志	★
2/10（水）	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール　② ― 品質機能展開 ―	玉川大学 教授 木内　正光	
2/18（木）	信頼性入門とFMEA/FTA ― 品質保証・未然防止・安全・安心への基礎 ―	電気通信大学 名誉教授 鈴木　和幸	★
2/25（木）	自分の職場の問題解決に実験計画法を活用する能力向上のための事例発表会	東海大学 名誉教授 綾野　克俊	
	新商品開発に関する疑問にわかりやすく答えるまとめ	青山学院大学 名誉教授 石津　昌平	
	修了式		

※ 講師の都合等により日程が変更になる場合があります。
※スポット講座の受講については、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 人材育成部　教育研修課　産業人材研修グループ
TEL: 046-236-1500　E-mail: sm-hinkan@kistec.jp

令和８年度 品質管理講習会（技術課程）　講義内容

日程	科目	修得できる事項/到達点	講師	スポット
11/5（木）	顧客価値を実現するための新商品開発と科学的問題解決入門	顧客価値を生み出す新商品開発のプロセスを体系的に学びます。品質情報を活用して新製品開発を進める仕組みを理解し、技術的課題に対して仮説を立てて検証を進めるための科学的な問題解決手法を身につけることができます。	青山学院大学 名誉教授 石津昌平	○
11/12（木）	お客様の価値創造に貢献し、 ブルーオーシャン戦略を実現する新商品開発と品質保証の基本	モノづくりの原点である品質保証と、それを実現する有力手段としての新商品開発の基本について講義します。VUCAと言われる混迷の時代、日本の産業がどう立ち向かっていくべきか、その進むべき方向性が見えてきます。	元文化学園大学 特任教授 Quality Investigator 光藤義郎	○
11/19（木）	はじめてでもよくわかる検定・推定 --問題解決に活かす統計的手法の考え方--	問題解決プロセスの要点と検定・推定の考え方と基礎が修得でき、AIや統計ソフトの出力の正しさを自信をもって評価出来るようになります。 QC検定2級取得に必須の学習項目です。	電気通信大学 名誉教授 鈴木和幸	○
11/24（火）	データに潜む「関係性」を解き明かし、改善の根拠を作る ― 相関・回帰分析による要因解析と予測の実践 ―	現場のデータから、どの要因が品質や成果に影響を与えているか、その「関係の強さ」を客観的に評価する手法を学びます。散布図による視覚的な把握から、Excelを用いた重回帰分析までを体系的に習得します。「見かけ上の相関」に惑わされない解釈のポイントや、分析結果を次のアクションへ繋げるプロセスを重視。経験や勘を統計的な裏付けへと昇華させ、周囲を納得させる改善ストーリーを描く力を養います。	慶應義塾大学教授 鈴木秀男	○
12/2（水）	かしこい実験のために --分散分析を使って、うまくいく方法を見つける--	よい結果に得るためにどうすればよいかを統計的に探る分散分析を扱います。「2水準直交配列表による実験」を理解するための土台をつくります。	拓殖大学教授 佐野雅隆	○
12/8（火）	実験回数を減らして、答えは増やす ― 2水準直交配列表実験入門 ―	本講義では、2水準直交配列表を用いて、少ない試験回数で要因の影響を見極める実験の組み立て方を扱います。受講後には、品質・工程・配合条件などの改善テーマに対し、総当たりを避けて検証計画を自分で設計し、結果から効く要因を素早く特定できるようになります。　現場の制約（コスト・納期・設備）を踏まえた、再現性の高い改善提案につなげられる力を養います。	東海大学教授 金子雅明	○
12/17（木）	ゲームで学ぶ実験計画法 （導入編）	本科目では、シミュレーションゲームを通じて、実務での実験計画法の活用を体験できます。 導入編では、まず簡単な課題に取り組んでいただき、実験を行う水準の設定や最適な条件の探索方法など、実験計画法活用の基本的な考え方の体験・習得をしていただきます。	（株）日本科学技術研修所 犬伏秀生	○
12/24（木）	ゲームで学ぶ実験計画法 （応用編）	応用編では、因子数が多い、より難易度が高い課題に取り組んでいただき、効率的な要因の絞り込み方や実験の進め方など、実験計画法をより有効に活用するために必要な考え方の体験・習得をしていただきます。	（株）日本科学技術研修所 犬伏秀生	
1/14（木）	実験計画の進め方の講義と 実験計画の知識の確認のための試験	これまで学習した各種実験計画法を実際に実験を行う手順を学び、実験計画法全体をカバーする試験により身につけた知識を確認します。	東海大学 名誉教授 綾野　克俊	
1/21（木）	生成AIで加速するQC活動	生成AIの基本を理解した後，戦略立案からマーケティング、品質管理まで横断的にフレームワークを活用します．QCストーリーや七つ道具を実際にAIと対話しながら学び，明日から使える問題解決スキルを体得できる実践型セミナーです．	関西大学名誉教授 荒木　孝治	○
1/28（木）	生成AIがデータサイエンティストになる	生成AIと対話しながら実験計画法，分散分析，回帰分析，クラスタリングをデータで体験し，分析結果を説得力あるレポートに仕上げるまでを習得．AIがあなた専属のデータサイエンティストとして改善活動を支援します．	関西大学名誉教授 荒木　孝治	○
2/4（木）	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール　① ー品質機能展開ー	顧客の要求を分析し，これを製品として具現化することは開発において非常に重要です．本講義では品質機能展開における基礎知識を習得すると共に，品質表の作成方法を学びます．	玉川大学 教授 永井一志	○
2/10（水）	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール　② ー品質機能展開ー	第12回に行った講義の振り返りと演習の続きを行います．演習終了後は、品質機能展開構想図の作成を学び，一人ひとりの課題に合った活用の仕方を修得します．	玉川大学 教授 木内正光	
2/18（木）	信頼性入門とFMEA/FTA --品質保証・未然防止・ 安全・安心への基礎--	信頼性の考え方、特に故障とエラーのメカニズム、FMEA/ FTA, エラープルーフ/フェイルセーフ, 寿命データの解析を修得し、品質保証・安全確保への基礎を修得出来ます	電気通信大学 名誉教授 鈴木　和幸	○
2/25（木）	自分の職場の問題解決に実験計画法を活用する能力向上のための事例発表会	受講生が受講中に自分の職場の問題に実験計画法を活用した事例の参考となる事例を発表し合い、活用能力の向上を図ります。	東海大学 名誉教授 綾野　克俊	
	新商品開発に関する疑問にわかりやすく答えるまとめ	これまで学んだ新商品開発の考え方や科学的問題解決法を総合的に振り返り、日頃抱いている疑問や質問に丁寧に答える時間です。	青山学院大学 名誉教授 石津昌平	
	修了式			